

一般社団法人日本音楽療法学会 中国支部

第23回支部大会・第29回講習会 <岡山大会>

♪ 第1次案内 ♪

期 日 : 2025年6月28日(土)・29日(日)

会 場 : 6月28日 岡山国際交流センター 国際会議場
〒700-0026 岡山市北区奉還町2丁目2番1号(086-256-2000)
6月29日 岡山県医師会館 三木記念ホール
〒700-0024 岡山市北区駅元町19番2号(086-250-2100)

大会実行委員会 : 日本音楽療法学会中国支部第23回大会実行委員会 (担当: 白石)
E-mail: cyuugokusibutaikai2025@gmail.com

主 催 : 一般社団法人日本音楽療法学会 中国支部

第23回日本音楽療法学会中国支部大会へのお誘い

大会長 筒井恵子

様々な感染症の影響はあっても、音楽療法士でいらっしゃる皆様方は活動を少しずつ明るく展開しておられることと存じます。

さて、2025年は岡山市において6月28日、29日の両日、日本音楽療法学会中国支部の講習会並びに、第23回中国支部大会の開催を予定いたしております。テーマは「未来へつなぐ音楽療法～医療福祉発祥の地 岡山から～」とさせていただきます。

特に、今大会の会場につきましては、戦後の岡山県において、医療福祉に大きな貢献をした知事であり医師であった(故)三木行治氏を記念する「三木記念ホール」での開催と致しました。

この大会講演には、岡山県の社会福祉法人旭川荘 名誉理事長の末光茂所長をお招きし、日本で最も早い時期の肢体不自由児等の施設「旭川荘」の誕生と展開についてお話ししたいと思っています。

また、岡山県は多くの医学や福祉の先駆者たちを輩出してきましたが、その様々な活動のご紹介とともに、日本の音楽の草分けとなった人々とのつながりやその思いからも、現代を生きる私たちは、音楽療法士としてどう未来へつなぐことができるのかを、一緒に考え、学んで行きたいと思っています。

お一人でも多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

プログラム

6月28日（土） 講習会・懇親会（会員の方のみ）

10:00～10:30 受付

10:30～12:00 第1講 『認知症ケアと音楽療法』

講師：秋山 千広 先生

12:00～13:20 休憩（昼食）

13:20～14:50 第2講 『対象者とともにつくられる音楽療法士の行為と役割』

講師：柴田 朋子 先生

15:00～16:30 第3講 『音楽療法における歌唱伴奏のコツ』

講師：青 拓美 先生

18:00～20:00 懇親会 Ryoutei（地図参照）

6月29日（日） 支部大会

大会テーマ『未来へつなぐ音楽療法～医療福祉発祥の地、岡山から～』

※「大会長講演」「基調講演」：会員の方・一般の方参加可

9:00～ 9:30 受付

9:30～10:40 開会式 大会長講演

講師：大会長 筒井恵子

10:50～12:20 基調講演

『ともに生きる地域づくりの宝～音楽と障がいの未知の力～』

講師：末光 茂 先生

※以下会員の方のみ

12:30～13:00 支部総会

13:00～14:00 昼休憩

14:00～16:00 研究発表

16:00～16:05 閉会式

第1講 10:30~12:00

『認知症ケアと音楽療法』

秋山 千広 先生

- ①認知症疾患医療センターでの相談件数と支援
- ②鑑別診断ともの忘れ検査
- ③病気によつての違い
- ④最新治療、レカネマブ
- ⑤生活環境を整えるのが第一
- ⑥認知症ケアと音楽療法

認知症は精神病とは別物です。教科書にない発見や、音楽が与える影響を目の当たりにしました。今までの日々のケアと最新の治療をお伝えしたいと思います。

【プロフィール】

労災病院勤務の後、精神科の岡山慈圭病院に36年看護師として勤務。
全ての病気の基本となる精神科看護、人の心を理解する看護を展開。
看護師長を歴任し、令和3年より岡山県認知症疾患センター室長を務める。

第2講 13:20~14:50

『対象者とともにつくられる音楽療法士の行為と役割』

柴田 朋子 先生

音楽療法実践を継続する中で音楽療法士として抱くさまざまな思いがあるかと思います。例えば、目の前の対象者といまここで何をすることが良いことなのか…という現場で直面する迷い。こんなとき “音楽療法士の行為の選択はどのように行われているのか” 実際の事例から、何を感じ考えどんな振り舞いを辿っていったのかいくつご紹介します。また〈対象者と音楽療法士という関係性〉〈音楽療法が行われる場所〉〈対象者を取り巻く環境〉等、対象者個人に留まらない思いが逡巡することもあります。自身が出会ったみなさんと共に取り組んできた活動の背景と内容、それらを含め実践を継続する中で抱いてきた思いから音楽療法士の役割について再考したことをお話します。

【プロフィール】

名古屋芸術大学音楽学部音楽療法コースを卒業後、現在までフリーランスの音楽療法士として活動をしている。子ども・成人・高齢者、病院・施設・個人宅、集団・個人等、現場ごとにあらゆる形態の実践を行う。

第3講 15:00~16:30

『音楽療法における歌唱伴奏のコツ』

青 拓美 先生

歌の国、日本の音楽療法において、童謡唱歌から大衆歌、演歌、ポップスまで、様々なジャンルの歌の伴奏の技術が求められます。それぞれの曲の特徴を把握し、より、シンプルな音の構造で、原曲の雰囲気を出す音の選び方のコツを、会場の皆様のニーズに合わせてお伝えしていこうと考えています。特に、邦楽のニュアンスのある曲の伴奏、例えば、わらべうたや演歌などには、選ぶ音にコツが必要です。また、流行歌にはそれぞれ特徴的なリズムパターンがあります。そして、メロディーを生かすも、殺すもベースの音の動きにかかっています。音数をより少なくしながら、曲の特徴と雰囲気を生かし、クライアントが抱く原曲のイメージが壊れないように伴奏することが大切です。また、メロディー弾きをしながら雰囲気のある伴奏を作るやり方も共有したいと思います。それぞれの方の手に合った伴奏アレンジの工夫も、大切だと考えています。技術的に無理をせず、余裕のあるシンプルな伴奏で雰囲気を出す。これが音楽療法に求められる歌の伴奏だと考えています。

【プロフィール】

在学中よりメディアでポップコーラスで活躍。芸能活動のかたわら卒業後すぐ精神科音楽療法実践を手探りで開始し現在43年目。その後、芸能人対象のボイストレーナー、作曲家、音楽療法士、音楽大学にて音楽療法教育に携わり現在に至る。

芸能と音楽療法両面から編み出した独自の青メソッド(発声法や歌唱及び伴奏法)で『声と心と身体の健康』をテーマに活躍中。

日本臨床音楽研究会会長

日本臨床音楽療法学会 理事

日本音楽療法学会認定音楽療法士

高仁会戸田病院・川口病院(精神神経科) 芸術監督兼音楽療法士

平成音楽大学非常勤講師

日本作曲家協会 会員

大会 6月29日(日)

大会テーマ『未来へつなぐ音楽療法

～医療福祉発祥の地、岡山から～』

◎大会長講演

大会長 筒井 恵子

岡山出身の蘭医学研究の第一人者とされる緒方洪庵は当時発生した天然痘、コレラの撲滅に奔走し、大阪の適塾において医学者、蘭学者そして福沢諭吉など多くの教育者を育てたことで有名であります。また福祉の四聖人といわれるアリス・ペティ・アダムスは日本で最初のセツルメントを建て、医学を目指した石井十次は多くの孤児達の父となり、留岡幸助は家庭学校、山室軍平は救世軍で廃娼運動など福祉を語る上で重要な人々でありました。

【プロフィール】

神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業。

山陽女子高校音楽科、岡山県立大学等のピアノ非常勤講師をすると共に数多くのコンサートに出演した。平成元年から病院コンサートで音楽療法を始め、平成8年、特別養護老人ホーム愛光苑の施設長となり、高齢者の音楽療法に取り組む始める。また平成13年から、音楽療法を通して地域の高齢者を繋ぐ場作りに努めている。

現在、社会福祉法人鴻仁福祉会理事長、旭川荘厚生専門学院理事、公益財団法人岡山市ふれあい公社理事。川崎医療福祉大学、岡山医療福祉専門学校で非常勤講師。

◎基調講演

『ともに生きる地域づくりの宝～音楽と障がいの未知の力～』

末光 茂 先生

中国には、病気を診て直す「常医」、病人を診て直す「中医」、そして国を診て直す「上医・国医」という表現があります。岡山には岡山医専（現 岡大医学部）に学んだ「上医」が3人います（江草安彦「旭川荘」2代目理事長の評価）。その姿は音楽療法に関わる人にも通じるように思います。

1. 岡山孤児院の石井十次：医学の道から転じた知られざる理由
2. 岡山県知事・三木行治：マグサイサイ賞と「ももたろう少年合唱団」
3. 「旭川荘」初代理事長・川崎祐宣：世界初の「医療福祉」の提唱者。鹿児島出身の開業医を支え、「旭川荘」を盛り立てた岡山の土壌と歩み
4. 「旭川荘」と音楽のご縁の数々
 - (1) 糸賀英憲（広大教授）と立川澄登、坂本九さんそして近藤迪孝氏
 - (2) 五嶋みどりさん（株）「林原」そして作陽大学学生ボランティア

(3) クロイツァーのピアノと(株)「天満屋」そして滝井敬子元東京芸大教授と「グラチア音楽賞」

(4) 重症児と「わたぼうしコンサート」そして片山康雄山陽女子高校音楽課主任

5. おまけの話

(1) 「末光君はロパクを」の命令

(2) 岡山放送合唱団、ア・モンテカント、岡大グリークラブ、コールロータスの落ちこぼれが学んだこと

(3) 「吃音」を「発達障害」に(障害者総合支援法)～オーストラリアの歌手ミーガン・ワシントンさん

(4) メルボルン大学のMcFerran教授(音楽療法学科)の教えとオランダ OMEGA の実践

参考文献・資料

1. 江草安彦：改訂版「岡山福祉の群像」：山陽新聞社、2001

2. 阪本文雄：改訂版「名医の系譜」一医療先」進県・岡山を築いた人々,山陽新聞社,2023

3. 末光 茂：増補版「愛は創造の母に導かれて」旭川荘理事長室,2007

【プロフィール】

昭和 17 年 8 月 28 日 (82 歳) 愛媛県松山市生まれ

【最終学歴及び主な職歴】

昭和 42 年 岡山大学医学部卒業 (医学博士)

社会福祉法人旭川荘 旭川児童院 入職

昭和 46 年 土佐希望の家 園長 (1 年間)

昭和 63 年 社会福祉法人旭川荘 旭川児童院 院長

平成 3 年 川崎医療福祉大学医療福祉学科 教授

平成 13 年 社会福祉法人旭川荘 副理事長

平成 19 年 社会福祉法人旭川荘 理事長

平成 20 年川崎医療福祉大学医療福祉学科 特任教授

平成 22 年 上海市第二社会福利院 名誉院長

平成 25 年旭川荘総合研究所 所長

令和 5 年社会福祉法人旭川荘 名誉理事長 (～現在に至る)

令和 6 年 川崎医療福祉大学 名誉教授 (～現在に至る)

【主な役職】

日本発達障害学会 理事・評議員

全国重症心身障害日中活動支援協議会 会長

日本重症心身障害福祉協会 参与

全国重症心身障害児(者)を守る会 顧問

読売光と愛の事業団 理事

岡山県協力隊を育てる会 会長

学校法人作陽学園 理事

岡山博愛会 理事

みその児童福祉会 評議員

山陽新聞社会事業団 理事

操風会 理事

清水基金 海外研修選考委員会 委員長

【表彰】

昭和 56 年 辻村奨励賞

昭和 62 年 岡山市長賞

平成 8 年 岡山県知事賞

平成 10 年 山陽新聞賞

平成 14 年 内閣総理大臣表彰

平成 19 年 藍綬褒章

令和 4 年 岡山県済生賞

令和 6 年 日本知的障害者福祉協会会長賞

演題発表募集のご案内

今回の大会では、広島大会に続き、研究発表を会員の皆さまの学びの場としていただくために、査読で採択された方と共に、採択にはあと少しという方も抄録の添削指導を受けながらレベルを上げ発表に向けて準備を進めていただくという形を取ることにしました。

抄録の書き方やまとめ方の要点についてコメントをもらうことで、より深く学べる機会となり、今後の実践に役立つ知識の習得にも繋がると思います。

日常の実践を客観的に振り返ることができる良い機会になると思いますので、皆さまからのご応募をお待ちしております。

1. 応募資格について

研究発表申し込み時点で、日本音楽療法学会の会員であること。

2. 演題申し込み方法について

- ・日本音楽療法学会中国支部ホームページ (<http://jmta-cc.org>) へアクセスし、「研究発表申込フォーム」へ必要事項を記載の上、送信してください。
記載いただいた個人情報は、研究発表受付業務にのみ使用します。
- ・演題原稿は、大会実行委員会へメール送信してください。
メールアドレス : cyuugokusibutai2025@gmail.com

3. 演題原稿の体裁について

- ・図面も含めて A4 サイズ 1 枚 (48 字×40 行) におさめてください。
文字サイズ : 本文は 10 ポイントの明朝体、タイトルは 12 ポイントのゴシック太字
- ・日本音楽療法学会中国支部ホームページ (<http://jmta-cc.org>) へアクセスし、「研究発表演題原稿様式」をダウンロードしてご使用ください。
- ・事例研究の場合は「対象者および目標」「方法」「経過および結果」「考察」を、その他の場合「研究の目的」「方法」「結果」「考察」「結語」を簡潔に記載してください。

4. 発表方法について

- ・事例研究または学術研究の発表で、口演発表およびポスター発表となります。
口演発表は 20 分 (発表 15 分、質疑 5 分)、ポスター発表は 在席 20 分 (質疑応答) です。
- ・研究発表の内容や応募数によっては、ご希望に添えない場合もございますので、予めご了承ください。
- ・採択の可否につきましては、5月中旬を予定しております。

5. 演題申し込みの注意点

- ・発表は、本学会および他所においても未発表のものに限ります。

6. 演題募集期間

2025 年 2 月 25 日 (火) ~ 4 月 6 日 (日)

7. 承諾書・同意書について

- ・演題発表にあたり、対象者（または保護者）、施設長（または病院長など施設責任者）に事例発表の内容および目的・方法などについて説明し、発表について同意を得てください。
- ・承諾書・同意書は厳重に保管し、必要な時にはいつでも提出できるようにしてください。
- ・承諾書・同意書の書式例は、日本音楽療法学会中国支部ホームページ (<http://jmta-cc.org>) でダウンロードできます。

参加申し込み方法

1. 参加資格について

参加申し込み時点で、**日本音楽療法学会の会員**であること。

※6月29日（日）支部大会の大会長講演と基調講演は、**一般の方も参加可能**。

2. 参加申し込み方法について

日本音楽療法学会中国支部ホームページ <http://jmta-cc.org> へアクセスし、「申し込みフォーム」に必要な事項をご記入の上、送信してください。記載いただいた個人情報は、大会受付業務にのみ使用します。**※要旨集などのPDFデータが受信できるメールアドレスでお申し込みください。**

3. 参加費について

会員の方：**無料**

一般の方：**無料**

4. 懇親会について

普段はあまり話す機会のない会員同士、おいしい料理を囲んで交流を深めることを目的として懇親会を開催いたします。みなさま奮ってご参加ください。

日時：6月28日（土）18：00～20：00

場所：Ryoutei 奉還町本店（岡山市北区奉還町2-5-23）

参加費：税込5,000円（当日集金します）

「申し込みフォーム」にてお申し込みください。

5. 参加申し込み期間

2025年2月25日（火）～2025年6月10日（火）

※本大会・講習会では、当日の参加申し込みは受け付けません。必ず締め切り期日までに事前申し込みをお願いします。

ただし、一般の方の大会長講演、基調講演のみ当日参加を受け付けます

6. 宿泊について

宿泊の手配は各自で行ってください。宿泊についてのお問い合わせは大会実行委員会ではお受けすることができませんのでご了承ください。

7. 昼食について

昼食の持ち込みは、二日間ともに禁止となっております。どちらの会場周辺にも飲食店が多数ございますので外食していただくか、指定のお弁当（1,000円税込）を用意していますので、「申し込みフォーム」にてお申し込みください。代金は当日お弁当と引き換えになります。

8. 飲食について

岡山国際交流センターでは会場内で飲食することができますが、二日目の岡山県医師会館三木記念ホールでは会場内での飲食が禁止されています。昼食場所につきましては、会場とは別の階（501号室）にご用意しております。

※両会場ともペットボトル飲料のみ持ち込みができますが、それ以外の飲食品は持ち込めませんのでお気をつけください。

9. アクセス・交通案内

両会場とも以下の通りで、JR岡山駅から徒歩約5分

◆6月28日講習会【岡山県国際交流センター 国際会議場】

岡山駅 2F 中央改札口を出て右へ

陸橋屋根付きのANAクラウンプラザホテル岡山へのエスカレーター降りる

道路沿いの歩道を北方面に向かって歩く

2つ目の信号（セブンイレブン岡山駅元店）を左折し約30m

◆6月29日支部大会【岡山県医師会館 三木記念ホール】

岡山駅 2F 中央改札口を出て右へ

連絡通路を真っ直ぐ歩き、突き当りを右手に行くと医師会館 2F 入り口

※ 2F 通路突き当りの左手入り口は医師会館入り口ではありませんのでご注意ください。

【路面電車、路線バスでお越しの方】

JR岡山駅正面東口から2Fに上がり西口方向、陸橋屋根付きの連絡通路を通り、同様の道順で進む

【高速バスでお越しの方】

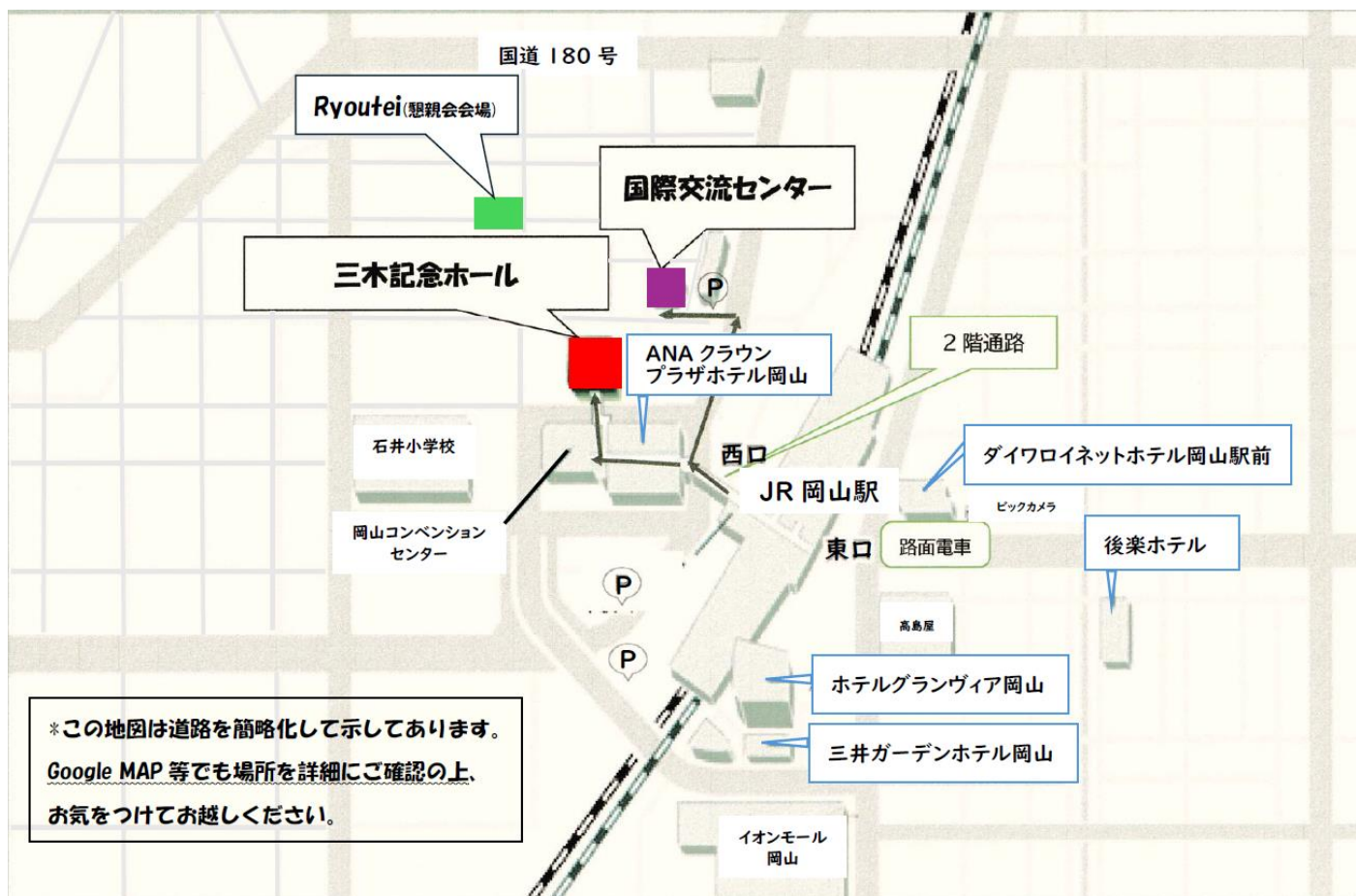
エスカレーターで2Fに上がり、連絡通路を通り、同様の道順で進む

【お車でお越しの方】

山陽自動車道 岡山ICから 約7km

※両会場とも一般駐車場はございません。国際交流センター東隣の岡山駅西口パーキングまたは最寄りの駐車場をご利用ください。

10. 会場周辺地図



お申し込み・お問い合わせ先

E-mail: cyuugokusibutaiikai2025@gmail.com

第 23 回大会実行委員会 (担当: 白石)